

農業農村支援センター

1 管内農業の概要

- ・上田地域は、耕地が標高 420m から 1,300m に立地し、年間降水量が 890 mm 程度と晴天日が多い気象条件を活かし、水稻や畜産の他、果樹や野菜、花きなど多様な品目が生産されている。
- ・農業産出額は令和 3 年度 169 億円。上田市菅平地域の高原野菜、東御市や上田市塩田地区を中心とした生食用ぶどうは品質が高く実需者からの評価も高い。
- ・総農家数は 8,432 戸。このうち自給的農家の割合が 64.8% と県全体の平均値より約 10 ポイント高く、農業就業人口のうち 65 歳以上の占める割合は 69.1% で県全体の平均値より約 4 ポイント高い。
- ・農家戸数の減少や高齢化が進む中、条件の良い水田地帯等では農地中間管理事業の活用等により、担い手への農地集積が進められている。

(1) 農家戸数及び農業就業人口 (2020 農林業センサス)

市町村	農 家 戸 数				農 業 就 業 人 口		
	総農家数 (戸)	販売農家 (戸)	自給的 農家(戸)	自給的農 家率(%)	総人口 (人)	65 才 未満(人)	65 才 以上(人)
上田市	5,244	1,690	3,554	67.8	2,468	784	1,684
東御市	2,093	1,012	1,081	51.6	1,432	492	940
長和町	624	141	483	77.4	207	84	123
青木村	471	128	343	72.8	150	42	108
地区計	8,432	2,971	5,461	64.8	4,257	1,402	2,940
構成比	100	35.2	64.8	—	100	32.9	69.1
県計	89,786	40,510	49,276	54.9	67,790	23,535	44,255
構成比	100	45.1	54.9	—	100	34.7	65.3

(注) 自給的農家：経営耕地面積が 30 a 未満かつ農産物販売金額が年間 50 万円未満の農家
 農業就業人口：農業に 60 日以上従事した 15 才以上の世帯員、役員・構成員（経営主含む）の数

(2) 農産物産出額 (R3 年産)

作物名	作付面積	生産量	産出額			県産出額	管内の占 める割合
				構成比	前年比		
	ha	t, 千本	億円	%	%	億円	%
米	2,698	15,310	32.9	19.4	89	408	8.1
麦類	362	895	0.4	0.2	69	4	10.0
豆・穀類	647	508	1.0	0.6	125	10	10.0
果樹	647	5,181	31.4	18.6	98	609	5.2
野菜	1,374	23,077	31.1	18.4	101	803	3.7
花き	55	12,164	12.4	7.3	108	142	8.7
きのこ類	—	7,744	37.0	21.9	100	469	7.9
畜産	7,277 頭 98 千羽	7,680	21.0	12.4	100	303	6.9
その他	—	—	2.0	1.2	100	69	2.9
計	—	—	169.2	100.0	98	2,817	6.0

(県農産物産出額より)

(注) 端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(3) 認定農業者等への農地の集積状況 (令和4年3月末現在) (ha, %)

市町村	耕地面積	中核的 経営体	認定農業者等への利用集積状況			集積率	
			認定農業者	集落営農組織他	合計	基本構想 目標	実績
上田市	5,250	314	1,446.9	441.7	1,888.6	60	37.3
東御市	2,360	153	576.6	119.6	696.1	50	28.1
長和町	884	34	114.8	54.6	169.4	45	19.4
青木村	428	27	23.1	135.4	158.5	50	35.1

(長野県・長野県農業再生協議会「農業構造政策推進資料」より抜粋)

(注)集落営農組織他には、基本構想水準到達者、認定新規就農者を含む。端数処理の関係で計と内訳が一致しない場あり。

2 事業概要

(1) 長野県食と農業農村振興計画 上田地域計画の達成指標

<第3期計画(平成30年(2018年)~令和4年(2022年))>

■達成指標 上小テーマ「多様な人材が活躍する、人と食をつなぐ上小農業」

重点 取組	達成指標	計画策定時 (2016年)	目標 (2022年)	実績 (2022年)
1	45歳未満の新規就農者数(年間)	12人	18人	6人
	中核的経営体数	442経営体	523経営体	528経営体
2	県オリジナル品種の普及面積	99ha	279ha	244ha
	国際水準GAPの取得件数	1件	5件	5件
3	ブロッコリー栽培面積	72ha	90ha	83ha
	ぶどう無核化率	48%	78%	78%
	防ひょうネットの設置面積	4ha	100ha	調査中
4	常設農産物直売所の売上額	18億円	22億円	調査中
	「おいしい信州ふード」SHOP登録数	60店舗	74店舗	73店舗
5	ため池の耐震対策実施か所数	0か所	18か所	22か所
	獣害対策用の侵入防止柵の設置延長	259km	310km	調査中
6	多面的機能を維持・発揮するための活動面積	3,725ha	5,315ha	調査中
	ワイン用ぶどうの栽培面積	75ha	110ha	125ha

(上田農業農村支援センター)

<第4期計画(令和5年(2023年)~令和9年(2027年))>

■達成指標 上小テーマ「人・食・地域 つながり輝く上小農業」

重点 取組	達成指標	現状 (2021(R3)年)	計画 (2023(R5)年)	目標 (2027(R9)年)
1	新規就農者数(49歳以下)	7人/年	11人/年	11人/年
	中核的経営体数	529経営体	547経営体	620経営体
2	多目的ネット等の利用面積	59ha	67ha	100ha
	醸造用ぶどうの収穫量	281t	513t	1,200t
	持続性の高い生産方式導入面積	428ha	452ha	500ha
3	県オリジナル品種等の普及面積	293ha	602ha	624ha
	米・ぶどうの輸出量	245t	260t	300t
4	都市農村交流人口	6,576人	12,060人	34,000人
5	防災重点農業用ため池の防災対策工事の着手箇所数	21か所	22か所	29か所
6	学校給食の県産食材利用割合	46%	46.7%	48%
	常設農産物直売所の売上額	20億円	21億円	25億円

(上田農業農村支援センター)

(2) 産業としての農業の振興

ア 多様な人材が活躍できる地域と一体となった担い手の確保育成

- ・市町村、JA信州うえだ、農業委員会、上田農業農村支援センター等で上田地域就農促進連絡会議を組織し、就農相談会の開催や次代の担い手となる新規就農者の確保に取り組んでいる。
- ・新規就農者の育成にあたっては、「長野県新規就農里親支援制度」のほか、(有)JA信州うえだファームが実施する研修制度とも就農希望者の情報について十分な連携を図り、就農前の基礎的な栽培技術や各種支援制度の活用方法を習得させ、個々人の適性に合わせた助言・指導を行っている。
- ・市町村等と連携し、農業経営を始めてから経営が安定するまでの一定期間、「農業次世代人材投資事業」により、研修者の就農準備、就農者の早期経営確立に向けた支援を行っている。

○新規就農者の状況（45歳未満）

年 度	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3	R 4
新規就農者数（人）	12	20	18	16	12	7	6

○長野県新規就農里親制度（里親研修）の修了実績 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
管 内	4	2	2	4
長野県	22	28	31	24

（注）研修対象は49歳以下の者。

【参考】

(有)JA信州うえだファーム研修実績 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
研修修了者数	6	8	4	12

○農業次世代人材投資事業（準備型と開始型）の実施状況 （人）

区 分	元年度	2年度	3年度	4年度
準備型	4	1	1	1
経営開始型	49	45	47	35

（注）準備型：新規就農に向けて県農業大学校などでの2年間の研修を要する。

年間最大150万円を最長2年間受け取れる（研修中の資金補助）。

経営開始型：市町村が窓口となり、就農直後の経営確立を支援するもの。

年間最大150万円、最長3年間受け取れる（就農後概ね3年間の資金補助）。

イ 競争力の高い水田農業と園芸産地の振興

- ・需要に見合った主食用米の適正生産に向けて多品目や新規需要米の取組を推進するとともに、収益性の高い園芸品目、県オリジナル品種等の販売力の高い品種への転換や導入を図っている。
- ・上田地域の基幹産業とし期待されるワインについては、ワイン用ぶどう栽培に必要な資材や機器の導入を支援している。

○水田への麦・大豆・そば、新規需要米の作付動向

区分	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	前年対比
	ha	ha	ha	ha	%
麦	299.9	301.1	288.5	355.5	123
大豆	257.3	218.7	231.8	298.0	129
そば	198.1	141.8	165.8	192.3	116
新規需要米	58.4	59.8	92.1	104.0	113

(上田農業農村支援センター調べ)

(注) 大豆、そばについては二毛作を含む作付面積。

○販売力の高い県オリジナル品種等の普及状況

〈作物〉

区分		栽培面積 (ha)				前年対比 (%)
		令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	
米	風さやか	110	124	141	142	101
酒米	山恵錦	2	1	5	4	80
大麦	初作ファイバー	0	10	10	15	150
小麦	ゆめかおり	10	20	20	13	65
	しろゆたか	—	—	—	10	—
そば	タチアカネ	80	71	70	70	100

(上田農業農村支援センター調べ)

〈果樹〉

区分		令和2年		令和3年		令和4年		前年対比	
		栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量	栽培面積	生産量
りんご	シラルップ	ha	t	ha	t	ha	t	%	%
		2.0	38.5	2.5	23.9	4.0	69	160	289
	秋映	17	374	18	166	16	252	89	152
	シノスイト	16	300	15	95	14	265	93	279
ぶどう	シノコート	7	218	7	106	6.2	125	89	118
	カゴノパール	20	197	20	238	21	215	105	90
	シャインマスカット	57	749	65	840	84	964	129	115
	クイーンルージュ®	7	0	8	5	12	13	150	260
	ワイン用品種	108	264	120	281	125	307	104	109

(上田農業農村支援センター調べ)

〈畜産〉

区分		飼育羽数 (羽)				前年対比 (%)
		令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
鶏	しなの鶏	2,426	1,927	2,536	2,424	96
	信州黄金シャモ	7,097	9,816	10,368	11,623	112

(園芸畜産課調べ)

○ワイン用ぶどうの栽培面積

平成 27 年に千曲川ワインバレー（東地区）特区を取得後、県単事業等を活用して新植、面積拡大が図られている。

区 分	H28	H29	H30	R 元	R 2	R 3	前年度対比
管 内	ha 75	ha 78	ha 85	ha 95	ha 108	ha 120	% 111.1
長野県	254	278	301	344	330	385 (速報値)	116.7
占有割合(%)	29.5	28.1	28.2	26.7	32.7	31.2	—

(上田地域振興局調べ)

○産地生産基盤パワーアップ事業等の活用による産地力強化への支援

【産地生産基盤パワーアップ事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
元	東御市 (祢津御堂)	2 件	醸造用 ぶどう	6.0	果樹棚の整備	12,977	5,898
2	東御市 (祢津御堂)	8 件	醸造用 ぶどう	13.2	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （草刈り機 7 台、スピートスプレー 5 台）	56,390	25,627
3	東御市 (祢津御堂)	4 件	醸造用 ぶどう	2.9	・果樹棚の整備（生産資材の導入（トリス）） ・農業用機械リース導入 （スピートスプレー、トラクター、モア、摘芯機、 マルチワゴン、トリマー）	22,768	10,347
3	東御市 (八重原)	1 件	もち性 大麦	—	・農業機械のリース導入 （トラクター 1 台）	10,890	4,950
4	東御市 (滋野、和)	1 件	生食用 ぶどう	—	・ぶどう用冷蔵庫の導入 6 基	14,850	6,750

(上田地域振興局調べ)

【強い農業・担い手づくり総合支援交付金事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積 (ha)	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
3	上田市 (殿城)	1 件	きゅうり	1240 m ²	・パイプビニールハウス一式 1240 m ²	16,628	3,000
3	東御市 (八重原)	1 件	水稻 大豆	各 1 台	・コンバイン、乾燥機、計量機、色彩選別機、 もみ殻中継ファン、大豆選別機	22,402	6,109

(上田地域振興局調べ)

【農地効率化等支援交付金事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	面積・ 台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (上田東)	1件	ぶどう	3,300 m ² 一式	・トンネルメッシュ (雨除け施設)	4,145	1,044
4	東御市 (北御牧)	1件	水稻	1台	・田植機 (スマート農機)	4,565	1,245

(上田地域振興局調べ)

【経営発展支援事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体	作物名	台数	事業内容等	事業費 (千円)	国費 (千円)
4	上田市 (真田)	1件	野菜	1台	・トラクター	5,056	2,500
4	東御市 (北御牧)	1件	野菜	各1台	・トラクター、モア、管理機	5,272	2,634

(上田地域振興局調べ)

【信州農業生産力強化対策事業】

実施年度	市町村名 (地区名)	事業実施主体名	作物名	面積 (a)	事業内容等	事業費 (千円)	県費 (千円)
3	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶど う、なし	141.8	一時的な樹園地の維持管理	3,170	1,409
3	東御市	(有)信州うえだ ファーム	ぶどう	47.9	樹園地の整備に要する経費	5,491	2,495
3	上田市	J A信州うえだ アスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 28棟	6,144	2,500
3	上田市	J A信州うえだ 武石野菜部会	アスパラガス	58	かん水施設 3か所	2,790	1,268
4	上田市 東御市	(有)信州うえだ ファーム	りんご、ぶど う、くるみ	131.7	一時的な樹園地の維持管理	4,775	2,051
4	上田市	J A信州うえだ アスパラ部会	アスパラガス	16	雨よけハウス 18棟	10,307	2,500
4	上田市	J A信州うえだ 武石野菜部会	アスパラガス	16	かん水施設 3か所	1,833	833

○ワイン産地づくりへの栽培技術支援

- ・ワイン産地の基盤強化を図るため、生産者の栽培技術向上に向けたセミナーの開催とスマート農業の普及に向けたお試し体験を実施した。

■ワイン用ぶどう生産者技術セミナー

日 時	令和5年1月18日(水) / 令和5年2月22日(水)
場 所	①東御市中央公民館 / ②上田市東山ぶどう団地
内 容	①ぶどうの生態、樹冠管理、病虫害対策について、県外の大規模ワイナリー経営者(生産者)からの講習の他、スマート農業機器の新梢管理機導入による作業効率と経費についての研究成果も研修。 参加生産者32名、関係者13名:計45名 ②管内のワイン用ぶどう生産者のほ場で、病虫害対策の一つの粗皮剥ぎ作業(高圧洗浄機)の実演とCO ₂ ゼロエミッションの取組の一つとなる剪定枝無煙炭化器の実演を実施。 参加生産者15名、関係者11名:計26名

■アシストスーツお試し体験会

日 時	令和4年10月12日~14日
場 所	日本ワイン農業研究所「アルカンヴィーニュ」
内 容	・収穫時における作業負担を軽減するため、体験会を実施。 ・アシストスーツの装着性、作業性など労力負担軽減について確認。 10/12 装着説明会参加者4名、10/12~14 体験者10名程度

(3) 消費者が求める食への対応

ア 食の地消地産と農産物直売所の機能強化

- ・農産物直売所の取扱量拡大や品質向上、新規出荷者の育成に向けた指導会を実施している。
- ・各常設農産物直売所が、運営上の課題を共有して解決策を話し合う「魅力アップセミナー」の開催や、課題解決に向けた専門コーディネーターの派遣を行っている。

○常設農産物直売所の売上高と来客者数

年 度	H29	H30	R 元	R 2	R 3	前年度対比
店 舗 数	16	16	17	16	15	94%
売上高(万円)	182,386	207,208	178,243	185,486	196,674	106%
来客数(千人)	—	2,446	2,316	2,341	—	—

(上田地域振興局調)

(注) 店舗数のR元年度からR2年度にかけての1減は、主力の販売品目を大型直売所店への移行による。

R2年度からR3年度にかけての1減は、経営不振による閉鎖によるもの。

H29及びR3の来客数についての調査は無し。

○魅力アップセミナー開催、魅力アップ支援

■農産物直売所魅力アップセミナー

日 時	令和5年2月10日（金）午後1時30分から午後4時まで
場 所	上田市丸子文化会館
内 容	・講義「インボイス制度について」 長野県農政部農業技術課 副主任専門技術員 高橋 達男
	・事例紹介①「若い世代から見た直売所出荷の魅力」 管内直売所の若手出荷者2名 ・事例紹介②「新たな出荷者の確保と育成について」 上田市丸子農産物直売加工センターあさつゆ 組合長 伊藤 良夫

■魅力アップ支援の活動内容

	活動内容	詳 細	
①	専門コーディネーターによる商品棚の欠品対応	長野県よろず支援拠点のコーディネーターと連携。2直売所をモデルに実施。商品棚のりんごなど欠品が出ないように情報共有するなど、補充して売上を確保。	
②	若手出荷者の直売所利用の魅力に関する意見共有	魅力アップセミナーの事例発表やパネルディスカッションから、消費者と直接かかわれることやパッケージの工夫ができること、値段を自分で決められることが魅力であることの再発見。	
③	出荷会員の拡大	9月に関連団体が行う販促イベントに併せて、若手出荷者の勧誘や直売所に対するアンケート調査を実施。	
④	端境期の対策	葉野菜類の栽培試験	冬場の端境期における品不足の課題に対し、5月の連休前に収穫できるキャベツ等の試験栽培を実施。
		野菜保存技術の情報収集	野菜をほ場又は冷蔵庫で冬場保存しておき、3月～4月の端境期に出荷できるよう保存技術について収集する。

(4) 暮らしの場としての農村の維持

- ・ニホンジカ、いのしし等の鳥獣害による農作物被害を防止するため、市町村対策協議会が取り組む侵入防止策の設置を支援している。
- ・平成12年度から実施している「中山間地等直接支払制度」は、第5期（R2～R6）対策に入っている。農業生産条件の不利益な中山間地域において、集落等を単位に農用地を維持・管理していくための取り決めを締結し、それによって水路や農道の管理など農業生産活動を行う場合に、面積に応じて一定額を交付し、農地や集落など農村の維持に役立てている。

○鳥獣被害防止対策交付金実績

実施年度	市町村名 (地区名)	取組主体名	面積 (ha)	事業内容等	事業費（千円）	
						うち国費
2	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	21.9	侵入防止柵 2,113m	4,543	4,543
3	東御市 (祢津御堂)	東御市有害鳥獣対策協議会	6.1	侵入防止柵 670m ネット網 47m	1,920	1,920
4 繰越	長和町 (大門)	長和町有害鳥獣駆除対策協議会	23.0	侵入防止策 5,000m	10,457	1,000

(上田地域振興局調べ)

○中山間地域農業直接支払交付金（令和4年度）

市町村	集落協定	協定参加者	協定面積	交付金（国・県分）
	件	人	ha	千円
上田市	25	572	171.7	23,253
東御市	24	1,355	497.8	76,358
長和町	12	244	120.6	18,000
青木村	21	329	77.8	9,666
計	82	2,500	868.0	127,276

（注）端数処理の関係で計と内訳が一致しない場合がある。

（上田地域振興局調べ）

（5）長野県価格高騰緊急対策について

原油価格・物価高騰等により多大な影響を受けている農業者の経営を支援するとともに、新型コロナウイルス感染拡大によって縮小した県内経済を活性化するために、令和4年度から実施されている。併せて、中長期的な視点からエネルギーコストの削減など未来につながる取組なども進めている。

【令和4年度実績・5年度計画】

（令和5年4月末現在）

事業名	市町村	事業実施主体	品目	内容
【国事業】				
施設園芸セーフティネット構築事業	東御市	(株)ハルデイン	花き苗	燃料購入費への補填
	東御市	ベルグアース(株)	野菜苗	燃料購入費への補填
【国+県事業】				
配合飼料価格高騰緊急対策事業	管内全域	管内配合飼料購入農家	畜産	国の配合飼料価格安定制度への上乗せ補填
肥料高騰対策事業	管内全域	J A信州うえだ J A佐久浅間 肥料販売業者	肥料	価格肥料の低減に取り組む販売農業者への国の肥料価格高騰対策の上乗せ助成
【県事業】				
施設園芸燃油価格高騰対策設備導入	上田市	(株)パトリオットエンタープライズ	ぶどう	ヒートポンプ、循環扇保温カーテン
農業エネルギーコスト削減促進事業	長和町	(株)長門牧場	酪農	冷凍庫
	上田市	JA信州うえだ	営農	LED照明機器 →5年度へ繰越
養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業(1回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填
きのこ培地資材価格高騰緊急対策事業	管内全域	JA信州うえだ農家13戸	菌茸	培地資材費の価格高騰分の補填
養魚用配合飼料価格高騰緊急対策事業(2回目)	上田市	(合資)臼田養魚場	養殖	飼料価格の価格高騰分の補填 →5年度に実施

（上田地域振興局調べ）